

電源を入れる前に

まず、このセットアップガイドをお読みください。

本書は、PRIMERGY BX300をセットアップするときの設置から運用までの流れを示しています。OSインストールタイプをご購入された場合は、「PRIMERGY OSインストールタイプ設定の手引き」も併せて参照してください。
カスタムメイドサービスで製品をご購入された場合は、「PRIMERGY BX300カスタムメイドサービス実装・設定情報」も併せて参照してください。

重要 OSインストールタイプをご購入の方へ

電源を入れる時に必ず『PRIMERGY OSインストールタイプ設定の手引き』を参照して、手順に従って開封作業を行ってください。開封手順以外の方法では、OSの設定が正しく行われず予期しないトラブルが発生する場合があります。

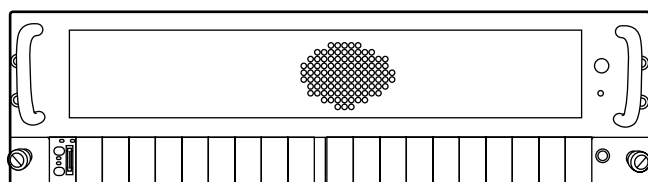
セットアップの流れ

1. 梱包物／添付品／各部の名称を確認する
2. 設置場所を確認する
3. オプションを取り付ける
4. 周辺装置を取り付ける
5. 電源を入れて、ハードウェアを設定する
6. OSと必須ソフトウェアをインストールする
7. サーバブレードの電源を切る／残ったオプションを取り付ける
8. システム設定情報を退避する
9. 運用開始前の設定をする
10. 運用開始

1 梱包物／添付品／各部の名称を確認する

チェック欄 ☐

梱包物／添付品の確認



☐ 本体装置

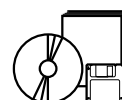
* 標準ではサーバブレードは搭載されていません。

オプション接続時に必要なもの

- ☐ 汎用ラベル (5枚一組×2)

各種ユーティリティ設定／確認時、およびOSと必須ソフトウェアのインストールに必要なもの

- ☐ Drivers CD-ROM
☐ ServerView CD
☐ Server Management Tool
☐ ハードウェア構成ツール起動用フロッピーディスク



設置時に必要なもの

- ☐ ラックマウントキット
☐ 電源ケーブル (シャーシ用)
☐ ディスプレイ／USB拡張ケーブル

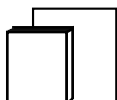
システム設定情報の退避時に必要なもの

- ☐ BIOS Environment Support Tools



本サーバのマニュアル

- ☐ シャーシ取扱説明書
☐ サーバブレード取扱説明書
☐ スイッチブレード取扱説明書
☐ マネジメントブレード取扱説明書
☐ セットアップガイド (本書)
☐ 保証書

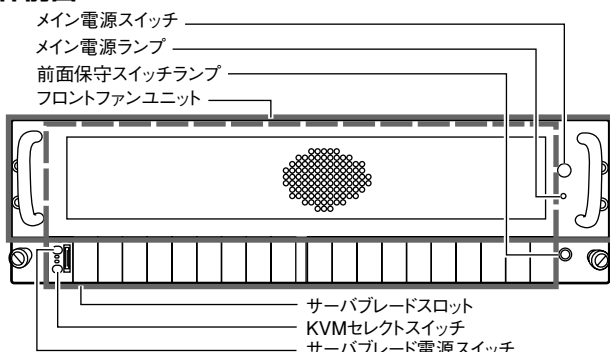


カスタムメイドサービスを利用してご購入された場合、およびご購入されたタイプによっては、上記以外の品物が添付されている場合があります。梱包物／添付品は、大切に保管してください。

シャーシ取扱説明書 >>>> 「2.1 梱包物の確認」

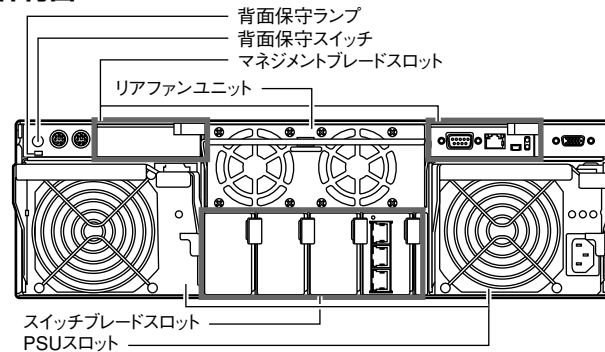
各部の名称の確認

サーバ本体前面



* 本書で記載しているサーバブレードに関する図、解説は一例です。

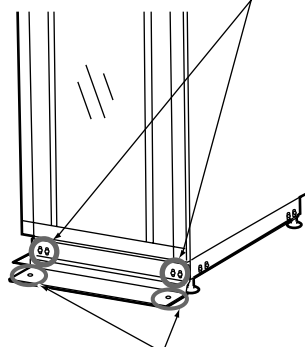
サーバ本体背面



チェック欄 ☐

設置例

The diagram shows a rectangular device with a central circular feature. The device has a top and bottom edge with a series of small rectangular protrusions. On the left side, there is a large, curved, hook-like structure. On the right side, there is a similar structure with two small circles below it. The central circular feature is filled with a dense, cross-hatched pattern. The entire device is enclosed in a rectangular frame.



設置環境

温度

- ## 設置スペース

Figure 1 illustrates the dimensions of the rack. The diagram shows three views: a front view (left), a top view (top right), and a side view (bottom right). The front view shows a rack body of 2000mm height and 200mm width. The top view shows a 1500mm wide rack body with a 600mm wide front panel and a 900mm high top section. The side view shows a 1200mm high rack body with a 400mm wide front panel and a 500mm wide top section. All views include a 1000mm wide protective area (保守エリア) around the rack body.

チェック欄 ☐

カスタムメイドサービスをご利用になって購入された場合は、すでにオプションの取り付けおよび設定がされています。ただし、サーバブレードとスイッチブレードのスロット位置は、構築するネットワーク構成によっては変更する必要があります。

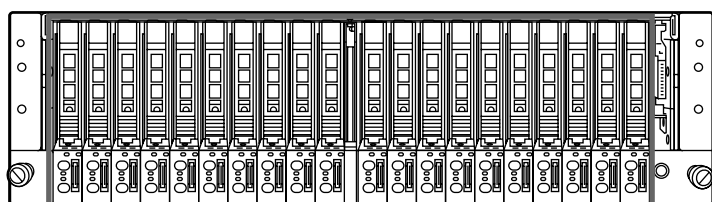
オプションを取り付ける前に、以下のものを準備してください。

- ・『シャーシ取扱説明書』
- ・『サーバブレード取扱説明書』
- ・プラスドライバ
- ・マイナスドライバ

重要 オプションは、基板や半田づけした部分がむきだしになっています。これらの部分は、人体に発生する静電気によって損傷を受ける場合があります。取り扱う前に、シャーシの金属部分に触れて人体の静電気を放電してください。
また、基板表面や半田づけの部分に触れないように、金具の部分や、基板の縁を持つようにしてください。

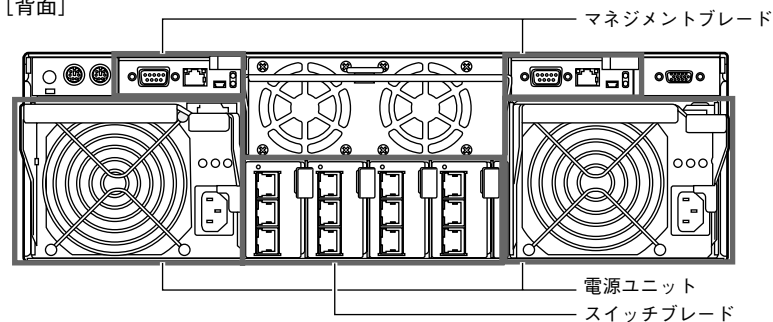
オプションを取り付けるときは、取り付ける位置や順序、他のオプションとの同時搭載時の注意があります。参照箇所を熟読のうえ、以降の手順を実施してください。

「前面」



サーバブレード

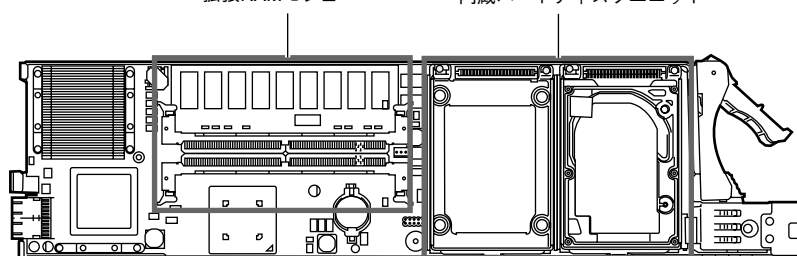
[背面]



「サーバブレード側面」

拡張RAMモジュール

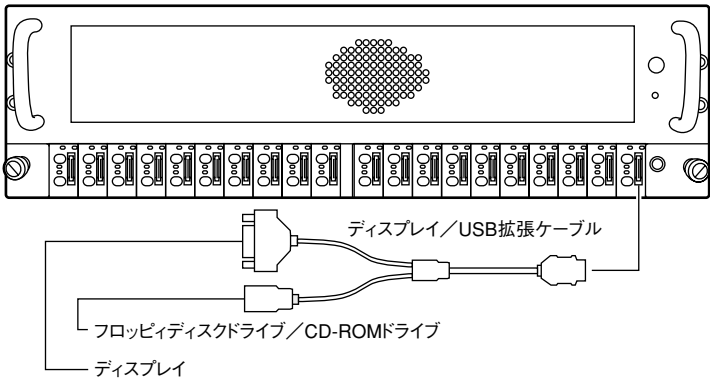
内蔵ハードディスクユニット



各周辺装置を取り付けます。

シャーシ取扱説明書「2.3 接続方法」

〔前面〕



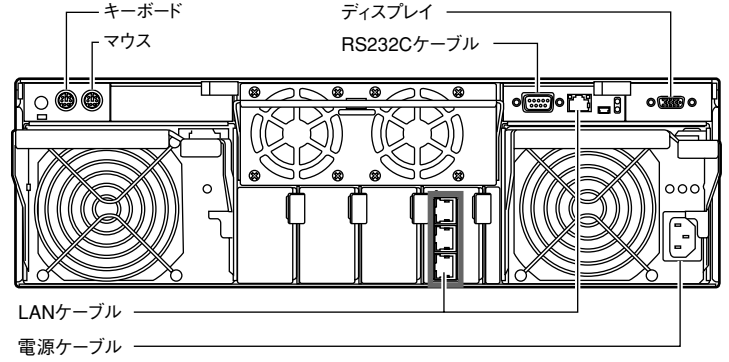
警告



感電

各周辺装置を接続するときは、サーバ本体および周辺装置の電源を切り、電源ケーブルを本サーバから取り外してください。感電の原因となります。

〔背面〕



重要

- 電源ケーブルは最後に接続してください。電源ケーブルの接続を行うと、マネジメントブレードが起動します。
- 電源ケーブル接続後、使用する環境によってマネジメントブレードの設定を確認、変更する必要があります。設定を行った場合、マネジメントブレードの設定情報を退避するようにしてください。システムに異常が発生したときの参考になります。

マネジメントブレード取扱説明書「2.3 初期設定」

- 重要** OSインストールタイプをご購入の方は、電源を入れる前に必ず『PRIMERGY OSインストールタイプ設定の手引き』参照し、手順に従って開封作業を行ってください。開封手順以外の方法では、OS設定が正しく行われず、予期しないトラブルが発生する場合があります。

OSインストールタイプ「PRIMERGY OSインストールタイプ 設定の手引き」

必要に応じて、取り付けた内蔵オプションの設定／確認を、以下のユーティリティで行います。

BIOSセットアップユーティリティ

起動ドライブなどの設定を、BIOSセットアップユーティリティで設定／確認します。

サーバブレード取扱説明書「3.3 BIOSセットアップユーティリティを使う」

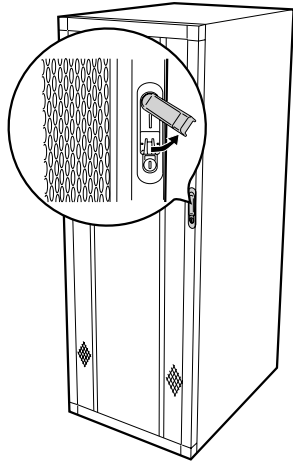
FastBuildユーティリティ

使用する内蔵ハードディスクおよびインストールするOSによって、オンボードIDEアレイコントローラの設定を設定／確認します。

サーバブレード取扱説明書「3.4 FastBuildユーティリティを使う」

メイン電源を入れる

- ラックドアを開けます。
ラックキーを左に回し、ラックハンドルの下部を押します。
ラックハンドルを右側に回して、手前に引きます。



- ディスプレイなどの周辺装置の電源スイッチを押します。

- シャーシのメイン電源を入れます。

重要

- ここではシャーシのメイン電源のみを入れます。スイッチブレードおよびシステムファンユニットが起動します。スイッチブレードの起動には約1分かかります。
シャーシ取扱説明書「3.2 電源を入れる」
- メイン電源を入れたあと、使用する環境によってスイッチブレードの設定を確認、変更する必要があります。設定は搭載されているスイッチブレードすべてに対して行ってください。設定を行った場合、スイッチブレードの設定情報を退避するようにしてください。システムに異常が発生したときの参考になります。
スイッチブレード取扱説明書「1.8 初期設定」
- VLANの設定はここでは行わないでください。設定する場合は運用を開始する前に設定を行ってください。

サーバブレードの電源を入れる

以下の手順は搭載されているすべてのサーバブレードに対して行ってください。サーバブレードの電源を入れます。

重要

- OSインストールタイプをご購入の方は、電源入れる時に必ず『PRIMERGY OSインストールタイプ設定の手引き』を参照し、手順に従って開封作業を行ってください。開封手順以外の方法では、OSの設定が正しく行われず予期しないトラブルが発生する場合があります。

この後すぐに、各ユーティリティを起動します。

BIOSセットアップユーティリティを起動する

BIOSセットアップユーティリティは以下の場合に行います。

ー本サーバを起動するドライブを変更する場合

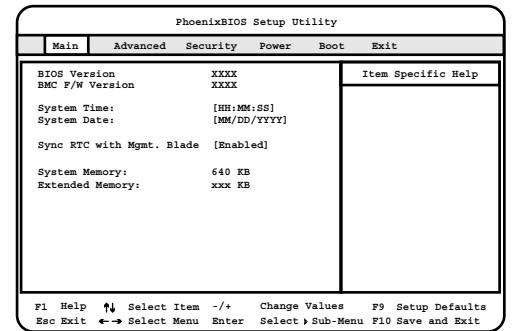
サーバブレード取扱説明書「3.3.9 Bootメニュー」

ーパスワードの設定を行う場合

サーバブレード取扱説明書「3.3.7 Securityメニュー」

■起動方法

サーバブレードの電源を入れたあと、画面に「Press <F2> to enter SETUP」と表示されたら、メッセージが表示されている間に、[F2]キーを押します。BIOSセットアップユーティリティが起動します。目的のメニューを選択し、[Enter]キーを押します。



FastBuildユーティリティを起動する

FastBuildユーティリティは、以下の場合に行います。

ーIDEアレイシステムを構築／参照／削除する場合

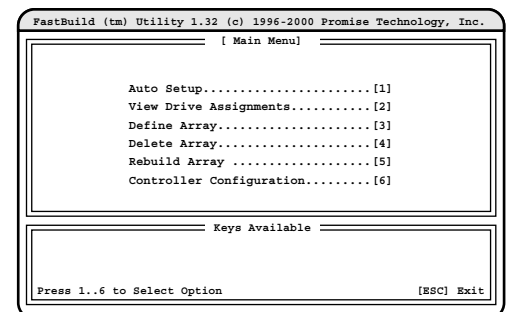
ー接続されたハードディスクの情報を参照する場合

ー故障したハードディスクを交換後にリビルドを行う場合

サーバブレード取扱説明書「3.4 FastBuildユーティリティを使う」

■起動方法

- サーバ起動時(POST実行中)に、「Press <Ctrl-F> to enter FastBuild (tm) Utility」と表示されている間に[Ctrl]+[F]キーを押します。FastBuildユーティリティが起動し、以下のメニューが表示されます。



- 各メニューから各種設定を行います。

6 OSと必須ソフトウェアをインストールする

チェック欄 ☐

OSをインストールします。
詳細については『サーバブレード取扱説明書』を参照してください。
ただし、OSインストールタイプをご購入の方は、電源を入れる前に必ず『PRIMERGY OSインストールタイプ設定の手引き』を参照し、手順に従って開封作業を行ってください。
開封手順以外の方法では、OS設定が正しく行われず、予期しないトラブルが発生する場合があります。

サーバブレード取扱説明書>>>> 「4.1.1 インストールできるOSと参照箇所」

■インストール

OSをローカル環境からインストールする場合のインストール手順は以下のとおりです。

1 Drivers CD-ROMから必要なドライバディスクを作成します。

7 サーバブレードの電源を切る／残ったオプションを取り付ける

チェック欄 ☐

OSや必須ソフトウェアのインストールが終了したら、「3 オプションを取り付ける」で取り付けられなかったサーバブレードのオプションを取り付けます。
オプションの取り付け終了後、必要であれば再度ハードウェアの設定を行ってください。
すべてのオプションが接続されている場合は、手順8へ進んでください。

重要 以下の操作手順で電源を切ってください。操作手順に反すると、データが破壊されるおそれがあります。

■電源切断方法

1 フロッピーディスクドライブおよびCD-ROMドライブなどに媒体が挿入されていないことを確認します。

2 OSを終了します。 以下の場合は、OS終了後サーバ本体の電源が切れます（3の操作は必要ありません）。

－OSがWindows 2000 Serverの場合

－ServerViewがインストールされている場合

その他のOSの場合は、OSを終了し、フロッピーディスクとハードディスクのアクセス表示ランプが消えていることを確認します。

8 システム設定情報を退避する

チェック欄 ☐

システムの設定情報を退避するとともに、コンフィグレーションシートに装置の運用状態を記入するようにしてください。
記入したコンフィグレーションシートは、紛失しないように大切に保管してください。システムに異常が発生したときやオプションの増設時に参考になります。

シャージ取扱説明書>>>> 「付録B.1 コンフィグレーション・シート」

サーバブレード取扱説明書>>>> 「3.5 BIOS設定情報の退避／復元」
「付録B.1 コンフィグレーション・シート」

重要 「ハードウェア構成ツール起動用フロッピーディスク」は、あらかじめDrivers CD-ROMから作成しておいてください。

サーバブレード取扱説明書>>>> 「A.3.1 ハードウェア構成ツール起動用フロッピーディスクの作成方法」

システム設定情報の退避には以下の2つの方法があります。

・マネジメントブレードの「CMOS Configuration Backup/Restore」機能を使用する。

マネジメントブレード取扱説明書>>>> 「第4章 Web UIについて」
「5.4 マネジメントブレードの各操作方法」

・「BIOS Environment Support Tools」を使用する。

■起動方法

「BIOS Environment Support Tools」の起動方法は以下のとおりです。

1 サーバブレードにディスプレイ／USB拡張ケーブルを使用して、フロッピーディスクドライブを接続します。

2 サーバブレードの電源を投入し、ハードウェア構成ツール起動用フロッピーディスクをセットします。

9 運用開始前の設定をする

チェック欄 ☐

「5. 電源を入れてハードウェアの設定をする」で行わなかったVLANの設定を必要に応じて行います。

スイッチブレード取扱説明書>>>> 「3.11 VLAN設定」

10 運用開始

チェック欄 ☐

これでセットアップが終了しました。

2 サーバブレードにディスプレイ／USB拡張ケーブルを使用して、フロッピーディスクドライブ／CD-ROMドライブを接続します。

3 OSのインストール

4 OSインストール終了後、ServerViewおよびIDE RAID管理ツールをインストールしてください。

サーバブレード取扱説明書>>>> 「4.7 ServerViewについて」
「4.8 IDE RAID管理ツールについて」

3 サーバブレードの電源スイッチを押します。 サーバブレードの電源が切れます。

4 ディスプレイ／USB拡張ケーブルを使用して接続している、周辺装置の電源を切ります。ディスプレイ／USB拡張ケーブルを取り外します。

5 その後、サーバブレードをシャージから取り外し、その他のオプションの取り付けやその他の作業を行います。



警告



●発煙、発火などの異常が発生した場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。

3 「2.Basic(BIOS Environment Support Tools)」を選択し、[Enter]を押します。

4 「BIOS Environment Support Tools」ディスクをセットします。 次のコマンドを入力し、システム設定情報を退避します。

A: \>read.bat [Enter]

MS-DOS 6.2 Startup Menu

1.Server Management Tool
2.Basic(BIOS Environment Support Tools)
3.Basic(RAIDUTIL)
4.Basic(Japanese Environment)
5.HDD firmware update
6.System Setup Utility(SSU) for N800

重要 システム設定情報は必ず退避するようにしてください。システムに異常が発生したときの参考になります。